



おおさき町

農業委員会だより

豊かな自然が宝物 みんなで紡ぐ結いのまち
-みんなが主役 新たな時代を開くゆめづくり-

No. 40

令和4年8月15日

●発行 大崎町農業委員会

●編集 広報編集委員会
〒899-7305

鹿児島県曾於郡大崎町

假宿 1029 番地

電話 099(476)1111

内線 530



ドローンによる防除

目次

次期農業委員・推進委員募集	2 P
担い手の紹介・農業用廃プラ処理等	3 P
農業委員会からのお知らせ	4 P

農業委員会
HP案内



次期農業委員・推進委員の募集について

令和5年7月に現在の農業委員・推進委員の任期満了に伴い、新たな委員を募集します。

- 募集時期 令和5年2月～3月（予定）
- 募集人数 農業委員 11名
農地利用最適化推進委員 11名
（野方校区・持留校区…3名／菱田校区・中沖校区…2名／大崎校区・大丸校区…6名）

●主な業務内容

- ・農業委員会総会への出席（毎月1回）及び活動報告書の提出
- ・現地調査への帯同、3条調査（農地の買受予定者等への訪問調査）
- ・農地意向調査のための巡回（アンケート調査）
- ・農地パトロール
- ・担い手農家への農地集積・集約化への推進
- ・新規就農・新規参入への促進
- ・耕作放棄地及び遊休農地所有者等への意向調査 など

●募集方法

農業委員

- ・農業者3名以上の推薦
- ・農業者の組織する団体からの推薦
- ・一般募集（自ら応募する）

農地利用最適化推進委員

- ・校区・区域（3名以上）からの推薦
- ・一般募集（自ら応募する）

募集は令和5年2月予定です

鹿児島島の農地

「貸したい」「借りたい」

総点検アンケートについて

農地を所有されている方に対し、今後の利用について農業委員・推進委員が訪問若しくは電話で問い合わせを行っています。

担い手への農地集積を進めるとともに、遊休農地の解消・活用のためご協力をお願いします。

使える農地は 使えるうちに 使える人へ

令和 年度 鹿児島島の農地「貸したい」「借りたい」総点検アンケート

委員氏名:

1. 世帯主（経営主）について	
①氏名: _____	②性別: <input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性
③年齢: _____ 歳	④集落: _____
④後継者: <input type="checkbox"/> いる (氏名: _____ 年齢: _____ 年) 移譲の時期: _____ 年 _____ 月頃 継 続: _____ 年	
<input type="checkbox"/> いない	
2. 世帯（経営体）について	
①世帯人数: 男性 _____ 人 ・ 女性 _____ 人 うち就農者: 男性 _____ 人 ・ 女性 _____ 人	
②就業形態: <input type="checkbox"/> 農業専業 <input type="checkbox"/> 兼業（農業が主） <input type="checkbox"/> 兼業（農業以外が主） <input type="checkbox"/> 非農家	
③経営内容: <input type="checkbox"/> 水稲 _____ ha <input type="checkbox"/> 野菜 _____ ha <input type="checkbox"/> 露地野菜 _____ ha	
<input type="checkbox"/> 施設 _____ ha <input type="checkbox"/> 果樹 _____ ha	
<input type="checkbox"/> 牛 _____ 頭 <input type="checkbox"/> 豚 _____ 頭 <input type="checkbox"/> 鶏 _____ 羽	
<input type="checkbox"/> その他: _____	
④経営意向: <input type="checkbox"/> 農業専業 <input type="checkbox"/> 兼業（農業を主） <input type="checkbox"/> 兼業（農業以外が主） <input type="checkbox"/> 非農家 (今後)	
<input type="checkbox"/> 就農予定 (年頃) <input type="checkbox"/> 就農予定 (年頃) <input type="checkbox"/> 就農予定 (年頃) <input type="checkbox"/> 就農予定 (年頃)	
<input type="checkbox"/> その他 (_____)	
3. 今後の経営農地について	
(1) 自作地（所有している農地）について	
<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 所有している農地が無い <input type="checkbox"/> 規模拡大 <input type="checkbox"/> 買いたい _____ ha
<input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 貸したい _____ ha <input type="checkbox"/> 売りたい _____ ha	
<input type="checkbox"/> 譲渡 <input type="checkbox"/> 貸したい _____ ha <input type="checkbox"/> 売りたい _____ ha	
(2) 小作地（借りている農地）について	
<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 借りている農地が無い <input type="checkbox"/> 規模拡大 <input type="checkbox"/> 借りたい _____ ha	

安心できる農地の貸し借り
農地バンクにおまかせください!

～活用しましょう! 農地バンク～

(農地中間管理機構)

頑張っています (担い手の紹介)

遊休農地等を活用した レモン栽培

大崎町野方に在住の渡部一二さん（株式会社おおすみテクノ社長）は、5年前からレモン栽培を始めました。当初は会社周辺に農地を購入し、苗木を植えるところから始まり、現在は野方・立小野地区に8ha、約3千本を育てる規模まで拡大しています。

果樹栽培の経験は無く、試行錯誤しながら栽培が始まり、農繁期には会社従業員の協力を得ながら管理をされております。

本格的な収穫は今年からで、出荷は青果向けを中心に自社での加工（乾燥・搾汁等）を計画されています。

今後も栽培面積を増やし、今の二倍の面積を目標にし、地域の高齢者等に働く場を提供し、農地が荒廃化しないようレモン栽培を続けるそうです。



レモンの樹を管理する
おおすみテクノ担当者

牛削蹄師として 九州大会出場へ

大崎町井俣で親子で畜産経営を行っている内村亮太さんは、平成29年に就農しました。子供の頃は農業に興味もなく、手伝いもしていませんでしたが、社会人になり会社を辞めて無職になったことで、家業の手伝いをするようになり、農業に興味を持つようになったそうです。

現在、生産牛20頭を3人で飼育しており、将来的にはもう少し増頭する計画だそうです。が、削蹄師（牛のひづめを整える仕事）も兼務しており毎日が忙しいとのこと。

削蹄師は就農と同時に始め、令和3年からは「曾於地区牛削蹄師会大崎班長」として地域の削蹄師をまとめる係もされています。また、今年7月に開催された鹿児島県牛削蹄競技大会では6位入賞をし、8月下旬に熊本県である九州大会に出場します。削蹄は牛の健康維持に欠かせず、体重増加や肉質・乳量の向上につながるそうです。

大崎の削蹄師は現在5名が在籍し、3名が今年から始めた新人です。内村さんの今後のご活躍を期待します。



内村亮太さん

農業用廃プラスチック類の適正処理について

農業用で使用したフィルムなどは産業廃棄物であり、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により排出事業者（農家）自らの責任において適正に処理することが義務づけられています。また、ほ場内や土手に野積みされた廃プラスチックもあり、農作業や周りに影響を及ぼしております。

処理方法 資源として有効利用される再生工場での再生処理を基本とします。
なお、大崎町では年4回再生処理のための回収（有料）を行っています。

今後の回収日 12月6日、3月7日

回収場所 そお鹿児島農協益丸野菜選果場



廃プラスチック類の回収風景

(お問い合わせ先) 大崎町役場 農林振興課 営農推進室 電話 476-1111

農業委員会からのお知らせ



農業者年金は次の要件を満たせば加入できます

- ①60歳未満 ②国民年金第1号被保険者 ③年間60日以上農業に従事
※保険料は1万円～6万7千円まで加入者が自由に選択できます。
但し、保険料の1万円から2万円未満は一定の要件を満たす方のみ

農業委員・農地利用最適化推進委員の地区割（担当委員の追加）

	集落名	担当農業委員	担当推進委員
大崎・大丸地区	西平良 平良 平良上 田中 堂地 飯隈上 飯隈 上郷 中郷 迫郷 下益丸 後迫 穂園 弁付 天子ヶ丘	藤井 亨 (飯隈)	植松 弘巳 (迫郷)

《最適化推進委員を募集します》

募集人数：大崎地区 1名、野方・持留地区 1名

業務内容：農業委員会総会への出席（毎月1回）及び活動報告書の提出、
現地調査への帯同、3条調査（農地の買受予定者等への訪問調査）
農地のあっせん及び農政座談会等への出席
農家への意向調査等

※募集を希望される方は農業委員会までご連絡ください。

新委員の紹介



最適化推進委員
大崎・大丸地区 植松 弘巳

肥後 修
二見さち子
豊住 秀史
川越 深
戸床トシ子
高橋みよ子

【広報委員】

広報委員会編集のもと、第四十号の農業委員会だよりをお届けします。発行にあたり取材協力をいただいた皆様には心よりお礼申し上げます。広報委員会では、今後も経営に役立つ情報提供をしてまいりますのでご意見・ご要望をお寄せください。

編集後記



～全国農業新聞～

全国農業新聞は、みなさまの立場に立って、中央・地方の情勢、営農や暮らしの情報を提供しています。

お申し込みは、お近くの農業委員または農業委員会までご連絡ください。

発行日：毎週金曜日
購読料：1ヵ月700円

